

どんぐりの森通信

第12号

2006年12月

今年は初雪が遅くて、冬支度も余裕を持ってできたという方が多いのではないのでしょうか。11月に入っても穏やかな秋晴れの日が続き、どんぐりの森の活動には嬉しい秋でした。とはいえ、必ずやって来る厳寒はもうすぐそこ。森や川の生きものたちも冬を迎える準備を終えて、あるものは冬の眠りにつき、あるものはすでに来春の活動に向けて支度を整えていることでしょう。

平岡どんぐりの森の06年春から秋までの活動をまとめた『どんぐりの森通信』第12号をお届けします。活動にご参加、ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。

❖❖❖ 06年4月～10月の活動から ❖❖❖

ながぐつの土曜日

● 春の森たんけんたい（平岡公園）4月15日（土）

今年度最初のながぐつの土曜日、平岡公園には春を待ちかねた子供たちが大勢集まり、参加者は総勢60数名！にぎやかに出発です。

残雪の多い春、今年はカエルの産卵も遅れ気味でしたが、入口近くの梅の香橋から下をのぞくと、湿地の水溜りに卵の大きな塊りを発見。あったね！春いちばんだ！この季節のお楽しみ、エゾアカガエルの卵です。バケツにすくって、手で触ってみるとプルプルと良い感じ。卵に触ったのは初めてという子も多く、とても楽しそうでした。

ミズバショウがそろそろ咲き始めた湿地は、これからが春本番です。エゾノリュウキンカも黄色の蕾をふくらませていました。

● トンボいるかな？たんけんたい（平岡公園）6月17日（土）

平岡公園の湿地や池には、初夏から秋にかけていろいろな種類のトンボが入れ替わりに姿を見せてくれます。今日は雨上がりの空の下、「空飛ぶ宝石」トンボをさがして虫取り網を手に出発です。湿地の木道へ向かう途中にも、カナヘビやシャクトリムシ、クモなど次々と出てくる小さな生きものに目を奪われて、なかなか先へ進めません。雨に洗われた緑がひとときわ鮮やかな森です。「森の掃除屋」の異名をもつオオヒラタシデムシも見つけました。

お目当てのトンボもたくさんいました！木道の脇、小川の流れる場所には、ヒガシカワトンボ、シオヤトンボ、モイワサナエ。池の静かな水面には、ヨツボシトンボ、キタイトトンボ、エゾイトトンボ。それぞれオス・メスをつかまえて透明ケースに入れ、羽根や目、体の形や色をじっくり観察です。キタイトトンボの背にはウィングラス、エゾイトトンボの背にはスペードの模様があるのが特徴。虫眼鏡で見ると、くっきりと青いスペードの形が見えてビックリ！トンボの仲間ではないけれど、特大ジャンボのマダラガガンボや、ぴよんぴよん跳ねるコメツキムシも注目を浴びていました。

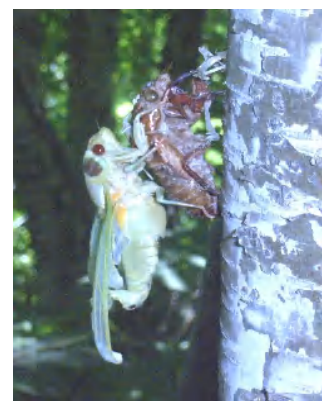
● 夏休みスペシャル 川のたんけんたい（東部緑地）8月5日（土）

今年は大曲川のたんけんです。集合場所の東部緑地入り口に集まったのは、公園小と上野幌東小の親子を中心に28名（スタッフ7名）。手に手に魚とりの網やバケツ、焼いも用の炭などを持って出発。暑いので早く水に入りたいと急ぎ足で大曲川に向かいましたが、バッタやオニヤンマ、カナヘビなど次々と出てきて、なかなか川に着きません。素晴らしく大きなミヤマクワガタも発見！ゆうさんも、こんな立派なのは見たことない、東部緑地の王様クワガタだねと太鼓判でした。

セミが羽化しているところも見つけました。まだ半透明のグリーンがかかった色のセミが、固い殻から身を脱け出して羽を広げようとしています。羽も薄くて柔らかそう、飛び立つまでにはまだ時間がかかりそうです。こんなふうにして一人前（？）のセミになっていくんだねと、大人も子供もちょっと感動の1シーンでした。

川に入ってみると水が冷たいのにびっくり、川底の石はすべるし、最初はちょっとベソをかいている子もいましたが、まもなく皆な川岸の茂みを網で探ったり石をひっくり返したりして、魚や川の生きもの探しに熱中していました。魚は今年はちょっと少なくて、フクドジョウが数匹にヤゴや水生昆虫が観察できました。

お屋には、ちょうど良く焼けたお芋やおにぎりをほおぼって、木陰で休憩。楽しい夏の1日でした。



● 秋の森たんけんたい (東部緑地) 9月9日(土)

残暑のきびしい1日、40人近い参加者が集まって川遊びを楽しみました。森の中はセミの声で満ち、オニヤンマが川面を飛んで、虫たちも夏の名残を惜しんでいるようでした。

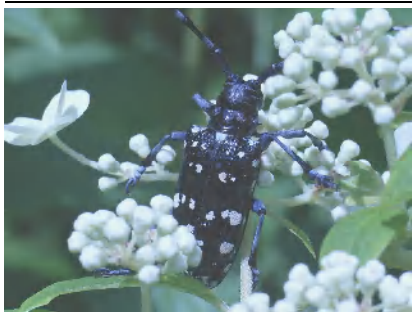
冷たい水の中に入っているだけで気持ちの良い日でしたが、焚き火で焼いたお芋やトウキビの香ばしい匂いに、ちよっぴり秋の気配も感じられたかな？



平岡公園ツリーウォッチング

平岡公園の樹木の四季を観察する、月1回のツリーウォッチング。3年目の今年は、公園外へも出かける予定でしたが、結局、春から秋まで平岡公園を歩き回ることになりました。同じ場所でも少し季節がずれると違う様子を見せてくれる森の木々、去年と今年では花の咲き方、実のつき方も微妙に違う。大きく伸びていく若木、キノコや苔が付いてキツツキの穴も増え、そろそろ老いが目立つようになった木。強風で倒れた木の上にはぼっかり空が開いて、森は日々変わっていきます。狭いようで広い(?)平岡公園。歩くたびに新しい発見があつて飽きることはありません。5月から11月までの7回の中から、一部のレポートを紹介します。

★ 7月19日 ツリーウォッチング 参加者14名



今回は色々な生きものとの出会いがありました。まず迎えてくれたのはアオダイショウ、木道の縁で日向ぼっこしていました。白い花が美しいノリウツギの木にはゴマダラカミキリ、体長5cm位で体や長い触角に点々と白い星のような模様があり艶やかです。上流湿地のミズドクサには数時間前に羽化したばかりのオニヤンマ、人工湿地ではトンボたちが産卵で大忙しで、青緑色に羽根を輝かせるイトトンボが美しい。そして奥の池にはカワセミが！水面近くの枝に止まって何やら思わせぶりの動きをするので、覗き窓から双眼鏡でそっと観察。汗だらだらでも、憧れのカワセミに会えたので皆な大満足！

ゆうさんは前日のお昼過ぎにカワセミのつがいらしい2羽をここで見たそうです。

森では林床にシャクジョウソウの群生、ツルアリドオシの可憐な白い花、アクシバの目立たない素朴な花を観察、樹木ではシナノキが香り高いクリーム色の花をつけ、コクワもまだ青い実をたくさん付けていました。

★ 8月9日(水) ツリーウォッチング 参加者6名

30度を超える真夏日、家にもぐったりしているだけだからと出かけてみると、緑陰とは良く言ったもの、平岡公園には心地よい風も時おり吹いて、湿地の植物も元気でした。

今日は『木の葉を見分けよう』がテーマです。入り口でニセアカシア、イヌエンジュの葉の違いをよく見て、これにアオダモ、ヤチダモを加えれば平岡近辺でよく見る樹木の複葉は、見分けがつかはずとのこと。

カエデの仲間やオオバボダイジュなど、そろそろ実がなり始めているところです。今年はヤマブドウがたわわに青い実をつけていますが、熟す頃には…残っているかな？コクワの実もぷっくりと丸く膨らんできました。

梅の香橋の下には紫のサワギキョウや黄色いハンゴンソウ、湿地ではエゾミソハギが満開になって、一足早く秋の花の登場です。ゆうさんの案内でセミの声に満ちた真夏の平岡公園を楽しみました。

アオサギの観察 平岡コロニー (イオンSC駐車場 裏の森)

今年は3月9日にアオサギ19羽の初飛来を確認。春の積雪量が多く、まだ時折雪が降って冬に逆戻りすることもありましたが、アオサギは子育ての準備を始めました。

1997年4月からこの場所に営巣を初めて10年目、その間にイオンショッピングセンターの建設があり、アオサギの繁殖ができるのか心配しながら見守ってきましたが、この数年は「春告げ鳥」として北国の私たちに毎年春を運んでくれます。ジャスコさんも5月末に行う森の清掃作業ではアオサギの抱卵やヒナの生育に配慮して頂いています。

今年も平岡高校のご協力を頂き、屋上からスコープや双眼鏡で営巣の様子を観察しました。(4/21、5/31、6/27)

1回目の4月21日に双眼鏡で見える範囲で数えた巣は約60個。アオサギ研究家の松長さんによると、アオサギの子育て期間は、同じコロニーでも早くから巣作りを始めたつがいと、のんびり始めたつがいとでは1月以上も差があるそうです。巣作りからヒナの巣立ちを完全に終えるまでの平均的子育て期間は、北海道では100日ほどかかるということです。今年も、悪天候に負けず子育てのために餌を捕りに飛んで行くアオサギを何度も見ました。

6月27日の観察会では、ヒナたちが成長して親鳥と同じくらいの大きさになり見分けがつかないくらいでした。お盆過ぎにはほとんどのヒナが巣立ちしました。



第9回 平岡公園にぎわいフェスタ 9月30日開催

元気な親子が集まり、好天の秋の1日を楽しみました。

参加者36名は第1駐車場からスタート、ドングリなどを拾いながら色づき始めた森の中を歩き、湿地を観察してから、混播法での森づくり。あらかじめ公園事務所の方々の手で整地された区画に、苗を植え込んでいきます。コナラ、ミズナラ、アオダモ、クリ、ミヤマガマズミなどの苗は、近隣の自然林で採取した種を育てて1～3年になるもの。1区画に10株づつ植えて全部で11区画、今年は110株の木を植えました。低学年の子ども達も一度やって覚えると、次からは上手に植えることができました。

森づくりを終えてすぐ近くの原っぱに入ると、あちらこちらでぴよぴよはねるバッタやトノサマガエルの子どもがたくさん。昼食は公園特製豚汁、今年も美味しくいただきました。

午後は公園に流れる三里川支流で魚探し、普段は入れない公園内の川で色々な生き物を見つけました。捕れた魚は水槽に入れてサケ科学館の方から詳しく説明してもらい、最後に獲物を全部一つの水槽に入れて「ミニ水族館」のできあがり、なかなか見事で見とれてしまいました。魚の先生の桑原さんが、すくった泥の中から、2枚貝の中では極小（大きさは数mm）のとても珍しい「マメシジミ」をピンセットでつまんで見せてくれました。

捕れた魚はフクドジョウ約20匹、ドジョウ約10匹、イバラトミヨ4匹、エゾトミヨ2匹、スナヤツメ3匹、スジエビ10匹、他にオニヤンマのヤゴ10、他のヤゴ5、カワニナ5、マツモムシ1、ガガンボ3、モンカゲロウ1、マメシジミ1、など。

来年もフェスタを開催する予定ですので、多数のご参加、ご協力よろしく申し上げます。



地域の森づくり

●平岡公園で森づくり〔公園小3年生の総合学習〕 10月13日(金)

予定していた日は大荒れの天気になり、今日に延期されました。

90人ほどの3年生が三班に分かれて森に入ります。嵐のおかげ(?)か、遊歩道にはドングリがたくさん落ちていました。モミジやシナノキのちょっと変わった形の種子、赤くて可愛いツリバナの実もたくさん見つけました。大きなホオノキの実から細い糸を引いてぶら下がる赤いタネには皆ビックリ。平岡公園に多いコナラとミズナラの違いも分かったかな?

自然林を歩いて見た後で、公園の一角で森づくり。昨年ポットに植えて校庭の隅で育てていた苗を植えます。各人ひとつずつ、ていねいにシャベルで植えこみました。こんな小さな苗が、いつか立派な大木になるんだねと感心しながら、熱心に記録用紙に書き込んでくれました。

●平岡公園小『ふれあい空間』森のタネを育てよう 10月14日(土)

昨日、平岡公園で3年生が拾ってきたドングリを、『ふれあい空間』の参加者がポットに植えました。ミズナラ、コナラ、クリのポット苗は昨年と同様に小学校の中庭で春を待ちます。発芽した苗の成長を楽しみに、子どもたちに見守ってもらいたいと思います。



平岡公園ボランティア活動

公園内に造成した池と湿地にはいろいろな植物が茂って、魚や水生昆虫、水鳥もやってくるようになり、水辺の景観が整ってきました。ただ、周囲からの樹木や外来種の侵入も多く、定期的な手入れが必要です。10月の湿地の除草作業では、繁殖力の強いヨシを除去、成長が著しいヤナギやシラカバノの枝をカットして日当たりを確保し、湿地がすっきりしました。

どんぐりの森をはじめ、様々な市民活動に参加させていただくようになり、活動を通して子供達から教わるが多々あります。特に私は川に関連した市民活動の参加が多いのですが、以前参加した市民活動では「どうして？何で？」という声子供たち自身から挙げられ、聞かれてもすぐに返答できないような質問もいっぱい出てきました。私の勉強不足もあって、必死に説明すると逆に長くなってしまい、どうしてどうしてと質問がさらに増えてしまうという感じにちょっと後悔しています。「わかりやすく・簡潔に」という説明は簡単なようでとっても難しいことです。



例えば、「どうして草の近くに魚が多いの？」という質問について専門的な回答を述べると、餌場・休息場所・産卵場所としての利用が一般的に言われており、体の小さい魚にとっては他の魚からの捕食から逃れるためや、草があることで水の流れが遅くなり稚魚の生育場所として利用されているということなども言われています。

私の場合「草の近くがゆっくりお休みできる場所になっているんじゃないかなあ」と返答すると、なるほどと納得する子もいれば、「それは違うよ」と私とは違う意見を出してくれる子もいます。どちらにしても一つの疑問に対して、自分で行動し、感じ、考え、いろいろな意見を出せることにとっても感心しましたし、そして何より“外で遊ぶこと”の楽しさをもっと感じてほしいと思いました。

最近の子供達は外で遊ばないという声も聞きますが、現に、川で遊ぶ子供達はいろいろなことに興味津々で、満足するまで魚を捕ろうとしたり、どうして？なんで？といった疑問を持ちながら行動していました。私も“考えながら”という点においては何も言えませんが、子供の頃は日が暮れても外で遊んでいました。これから子供達ももっと自由に遊べるような環境づくり、またその遊びのお手伝いに少しでも協力できるよう、活動を通じてもっとも生き物や自然について考えていきたいと思っています。

平岡どんぐりの森 シンボルマークができました！



この夏からお知らせチラシやプログラムに使っていますが、お気づきでしょうか？
素敵なマークは、工房 *atelier Asa* 主宰の木彫作家 高橋朝子さんに作っていただきました。高橋さん、どうもありがとうございます。
皆さん、新しいシンボルマークをどうぞよろしく！



冬の活動予定

1月13日(土) ながぐつの土曜日 雪の森たんけんたい

(平岡公園第5駐車場 10時集合)

2月14日(水) 平岡公園ツリーウォッチング

(平岡公園第5駐車場 10時集合)



発行 平岡どんぐりの森 (代表 荒井美和子)



〒004-0033 札幌市厚別区上野幌3条5丁目12-8
tel. fax 011-896-0058